

宮崎県で肉用鶏から 高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜が 確認されました！（家きん国内15例目）

【概要】

- ・宮崎県都城市 肉用鶏 約3.6万羽
- ・簡易検査および遺伝子検査で陽性。H5亜型、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

심각한
警戒を！

※全国各地で、

家きんでの発生、

野鳥の糞便等からのウイルス検出 が続発しています。

※本県で発生する危険性も日に日に高まっている状況にあります。

本日も、飼養衛生管理基準の内容を再点検し、
不遵守の場合には大至急改善してください。

※飼養環境に関する対策については、以下のことが大事です。

- ・衛生管理区域内は、ねずみ等の野生動物が隠れる場所をなくすとともに、病原体が侵入した場合に当該病原体が残存しないよう、不要な資材等の処分、除草及び資材、機材等の整理整頓等を行って、敷地を定期的に消毒すること。

※毎日の健康観察を行い、死亡羽数の増加等異常を見つけた場合には速やかに家畜保健衛生所に連絡をお願いします。

鳥インフルエンザの情報を掲載した農林水産省ウェブサイト：<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

異常をみつけた場合には直ちに山梨県西部家畜保健衛生所まで
電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728
夜間、土日・休日の連絡は・・・090-5564-1018